

平素より、当院野球部へのご理解ご声援、誠にありがとうございます。今年を振り返ってみますと、10月に第26回西日本軟式野球選手権大会（参加27チーム）への出場を果たす事が出来ました。結果は2回戦敗退に終わり、敗戦の中で反省点も多く見つかりましたが、今まで以上に「自分たちもやれる」、「全国区のチームに勝ちたい」という気持ちも強く抱く様になりました。現在も、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、チーム全体での練習が困難になり、選手各々の自主性が重要になる中で、西日本軟式野球選手権大会での経験はとて大きく、モチベーションを維持しながら、来季に向けトレーニングを積んでおります。「耐雪梅花麗」という言葉がある様に、今年の反省を振り返り、冬期のトレーニングを充実させ、来季こそは、全ての大会で代表権を勝ち取り、全国大会で結果を残したいと考えております。そして、当院野球部を理解し応援して下さる全ての方々へ「勝利」という形で恩返しができる様、日々精進して参ります。今後とも、私たち野球部へご声援の程よろしくお願いたします。

来季新主将 河内大樹



第26回西日本軟式野球選手権大会開会式

吉田病院（精神科 307床）

■ 〒889-0511 宮崎県延岡市松原町4丁目8850番地

■ TEL (0982)37-0126

■ FAX (0982)37-0233

■ <http://www.yoshidahospital.or.jp>

■ メール kenyukai@sunny.ocn.ne.jp

■ 受付時間 月～金 / 8:30～11:30、13:30～15:30 土 / 8:30～11:30



基本方針

1. 患者様とご家族の立場に立った医療・福祉を考えます。
2. 人権を尊重し、思いやりのある医療・福祉を実施します。
3. 子供から高齢者までの幅広い精神科医療を実施します。
4. 特に認知症について専門性の高い医療を実施します。
5. 患者様の早期社会復帰を目指し、チーム医療を実施します。
6. 患者様が地域の中で健康に暮らせるように、地域との連携を図ります。
7. 職員全員が質の高い医療・福祉の実践のため自己研鑽に努めます。

『患者様の権利について』

患者様は、適切な医療を受け、安心して療養に専念することができるように、次の権利を有しています。

1. 個人として、その人格を尊重される権利
2. 自分の受けている治療について知る権利
3. 状態に応じた適切な治療及び対応を受ける権利
4. 治療計画過程で自分の意見表明や自己決定できる援助を受ける権利
5. 公平で差別されない医療及び対応を受ける権利
6. 通信・面会の権利
7. 退院請求及び処遇改善を申し立てる権利
8. 開放的、明るい、清潔、落ち着ける環境で治療を受ける権利
9. 療養の制限のもとで治療を受ける権利

吉田病院だより

ゆうゆう

発行日 2023/3/1

Topic はまぼう荘



はまぼう荘 正面

宿泊型自立訓練施設はまぼう荘

今回の「ゆうゆう」では、当院の関連施設「はまぼう荘」を特集します。精神障がいの方が自立した社会生活が営めることを目的とした地域と医療の中間施設です。

宿泊型自立訓練施設 はまぼう荘とは

精神、または知的障がいのある方に対して、夜間や休日の居住の場を提供し、生活能力（食事や家事、入浴や身だしなみ、生活リズムの調整など）の維持・向上のための訓練を実施、また昼夜を通じた訓練を実施するとともに、地域移行に向けた関係機関との連絡調整を行い積極的な地域移行の促進を行う施設です。

【POINT はまぼう荘ができること】

- ・ 社会生活能力向上のための訓練
- ・ 内服管理、金銭管理、対人関係などの見守りや相談・助言など

宿泊型自立訓練施設 はまぼう荘 目標

「安心できる環境の中、生きがいと自立に向けての支援を行います。」を目標に日々がんばっております。

特集 はまぼう荘

はまぼう荘の利用対象者は？

宮崎県内にお住まいの方で、障害福祉サービス受給証をお持ちの精神障害者、知的障害者。一人暮らしや、家族との生活に自信がない方、又は、地域の生活がうまくいかない方などが対象です。

はまぼう荘の現在の入居者数と利用について

定員は20名。今現在（R5.2.6）で、7名が入居中です。

【POINT 利用する場合】

- ・担当の相談支援専門員がいる場合は、相談支援専門員に相談する。
- ・当院の外来に通院中であれば、主治医に相談する
- ・地域基幹相談支援センターへ相談する。
- ・施設見学や体験利用も可能です。お気軽に連絡ください。 TEL 0982-23-8711

はまぼうの利用期間終了後について

基本は2年間、最大3年間利用が可能です。期間満了後は、地域生活に移行します。

実績

【はまぼう荘の入所者、退所者の内訳】

年度	入所	退所
H30	5名	7名
R1	10名	7名
R2	5名	7名
R3	4名	5名
合計	24名	26名

【はまぼう荘の入所者、入所前環境の内訳】

入所前の環境	入所
当院（入院）	18名
自宅	5名
（他）入所施設	1名
合計	24名

【はまぼう荘の退所者、退所後環境の内訳】

退所後の環境	退所
自宅・単身	9名
再入院	6名
当院グループホーム	5名
他グループホーム	3名
他施設	3名
合計	26名

はまぼう荘 施設長松川・吉川

INFORMATION はまぼう荘

Address 松原町4丁目8847-9

Call 0982-23-8711 Fax 0982-23-8712 Mail hamabou@topaz.ocn.ne.jp

学会発表を行ないました

当院は毎年職員の資質向上とより良い支援を目的とし、事例研究を行なっています。優秀な事例は、九州精神医療学会で発表を行なっています。

コロナ禍以降学会が開催されていませんでしたが、3年ぶりに開催され、当院からも発表を行ないました。学会では他院の取り組みを知る機会にもなり、刺激を受けてきました。患者様への、より良い支援につなげられるように今後も精進していきます。

当院からの発表

堀内聡一郎（看護師）：「コロナ禍で感じたターミナルケアのあり方」

山中 拓真（看護師）：「多飲水行動を来す患者様の飲水行動減少へのアプローチ」



教育研修委員会 山中慎也

宮崎産の釜炒り茶で！ 茶飯

～Recipe～

<材料> 4人分

- ・米 2合
- ・緑茶葉 10g
- ・塩昆布 10g
- ・酒 大さじ2
- ・水 (適量)
- ・しらす 30g
- ・ゆで枝豆 30g

<作り方>

- ①茶葉の茎を取り鉢などで砕く（粉茶はそのまま使用できます）
- ②洗った米に、①の茶葉、塩昆布、酒をいれ、炊飯器の規定量まで水を入れ30分程度吸水させる
- ③通常通り炊飯する
- ④炊きあがったら、しらす、枝豆を加え混ぜる

<説明>

緑茶はお湯に溶け出さない成分もあるため、茶葉を食べると栄養も丸ごと摂れます。茶飯はほろ苦くさっぱりした味のご飯です。茶葉は固い部分を除き砕いてから炊き込む事で、食感が気にならなくなりますよ！具に蛋白質が豊富な豆やカルシウムが豊富な小魚などを混ぜるのがオススメです♪



(栄養課 管理栄養士 岡澤 由理)